

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価総括表(公表)

○事業所名	ほみいくらぶ だて			
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日		～	令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和7年11月20日		～	令和7年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	屋外活動やイベントが充実している。計画や事前見学などを行い、安全に社会経験の機会を提供できるようにしている。	室蘭・苫小牧・千歳・ニセコ等に出向き、幅広い範囲で社会経験を積める様にしている。 内容については計画や事前見学などを行い、安全に社会経験の機会を提供できるようにしている。	児童や保護者よりお話を聞きながら新たな活動内容の検討と実施に繋げていけるようにする。 地域資源の把握も強化して取り入れていく。
2	運動療育に関する専門的な知識と経験を有する複数の資格者が在籍しており、連携をしながら一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を行っている。	週3回は体育館で運動療育を行えるようにしている。毎回新しい内容を取り入れることで活動に対して飽きてしまわないように工夫をしながら、児童の心身の成長に繋がる内容を設定している。	外部研修や内部研修へ積極的に参加し、職員の専門性を高める取り組みを強化する。
3	ミーティング以外の時間でも、日常的に職員同士で児童の成長・変化・気になるところ等を共有している。	児童に関する特性や課題に加え、日々心身の状態が変わっていることを把握した中で支援が出来るように職員一人ひとり心がけている。	保護者や学校、各関係機関と連携を更に強化していけるように取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	より質の高い支援を安定して提供していくための課題として、人材確保の面において難しさを感じている。	求人に対する応募が少ないことから、労働人口の減少と人材が他産業や都市部へ流出する傾向が強くなってきていると感じている。	職員の働きやすい環境づくりや業務体制の見直しを進めるとともに、地域住民へ福祉や事業に関する理解や興味関心の向上に繋がる活動を継続的に行っていけるように工夫する。
2	夏祭りイベントや毎週水曜日に体育館で地域住民と交流をする機会を設けているが、他にも機会を増やしていく必要があると感じている。	既存の交流機会以外に、新たな地域団体や住民とつながるための情報収集や関係構築が十分に進められていない。	地域資源の積極的な活用と、活動内容や目的を分かりやすく地域への情報発信をしていけるように工夫する。
3			